

平成 2 4 年度

施設評価調書

施設の名称……吉田松陰寓寄処

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 2 4 年 7 月

平成 24 年度	施設名 (愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	-----------	------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	吉田松陰寓寄処に関する有形文化財を保存管理し、一般に公開するとともに学術研究の資に供する。					
運 営 事 業 名	H22 年値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率	評価
施設入場者数	4,850 人	6,300 人	3,380 人	69.69%	53.65%	D
設置目的に対する総合評価						D
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	一般公開が設置の主要目的であることから、施設入場者数 (含減免) を評価基準とした。 評価基準 : A=100%以上、B=80~99%、C=60~79%、D=40~59%、E=40%以下					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	年度によって入場者数が大きく変動している。 入場者に対しては、管理人 (臨時職員、常時 1 名) による歴史説明が実施されており、概ね好評である。市内の入場者は小・中学校の児童・生徒が学習を目的として訪れることが多く、一般入場者は少ない。
上 記 の 原 因	市外の入場者が多数を占めるため、観光客の入れ込み数によって入場者数が変動すると考えられる。特に平成 23 年度は東日本大震災の影響により観光客数が激減したため、低い入場者数となったと考えられる。

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	静岡県指定文化財 (史跡) として現状変更の制限がかかっているため、入場者の利便に供するような改修はできない。入場者数の増加のためには、下田における吉田松陰についての歴史紹介に力を入れる等、ソフト面を充実することが、入場者の増加につながると見られる。		
H24 年度運 営 事 業 と 目 標 値	運 営 事 業 名	H24 年度目標値	備 考
	施設入場者数の増加	6,300 人	目標値=1 回の入場者数 3 名×7 組/1 日×25 日 /1 月×12 ヶ月=6,300 人

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価 *上覧=目標値、下欄=実績値

運 営 事 業 名	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
総合評価	C	B	B	B
施設入場者数	6,300 人	6,300 人	6,300 人	6,300 人
	4,973 人	5,631 人	5,479 人	4,850 人

平成 24 年度

施設名 (愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処
-----------	------------

番号	23
----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		H22 年度値	H23 年目標値	H23 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用者数等	4,850 人	6,300 人	3,380 人	69.69%	53.65%
	B 年間経費	1,991,588 円	2,008,675 円	2,012,933 円	101.07%	99.78%
	B/A	410.64	318.84	595.55	145.03%	53.53%
②光熱水費		51,066	58,000	51,750	101.33%	112.07%
③消耗品費		33,964	12,000	6,544	19.26%	183.37%
効率性指標の考え方等		A. 施設総利用者数=入場者の実数を集計した。 目標値=1 回の入場者数 3 名×7 組/1 日×25 日/1 月×12 ヶ月=6,300 人 B. 年間経費=支出額+職員人件費 (目標値は予算額、除収入)				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	経済状況の低迷により、施設入場者数も減少の傾向にある。
----------------	-----------------------------

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	一層の節電、節水に努めるとともに、学校等に入場の働きかけを行う。		
H24 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B/A	324.17	年間経費/施設利用者目標値 (6,300 人)
	②光熱水費	49,162	前年度実績 (51,750 円) より 5%削減
	③消耗品費	6,216	前年度実績 (6,544 円) より 5%削減

※参考 前年度までの効率性指標

効率性指標		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
① 利用単位 当たりの経費	目標値	6,300	6,300	6,300	6,300
	A実績値	6,112	4,973	5,631	5,479
	B実績値 (7 頁総経費、除収入)	1,936,543	1,900,080	2,237,491	1,985,180
	B/A	316.84	382.07	397.35	362.33
	対前年比	126%	120%	103%	91%
	目標達成率	97%	78%	89%	86%
② 光熱水費	目標値	50,000 (予算額)	50,000 (予算額)	56,000 (予算額)	56,000 (予算額)
	実績値	54,323	54,322	57,893	55,547
	対前年比	103%	99%	106%	95%
	目標達成率	92%	92%	96%	100%
③ 消耗品費	目標値	15,000 (予算額)	15,000 (予算額)	9,000 (予算額)	9,000 (予算額)
	実績値	9,416	8,155	7,127	21,860
	対前年比	172%	86%	87%	306%
	目標達成率	159%	183%	126%	41%

平成 24 年度

施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処
----------	------------

番号	23
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	H21 年度	H22 年度	H23 年度
	①使用料原価	1 m ² 1 時間当たりの原価	円	4.34	4.34	4.39
	②稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%	282.26	327.81	514.27
	③ 1 m ² 1 時間 適正使用料	① ②	円	12.23	14.20	22.53
	④ 現行 1 m ² 1 時間使用料 の平均	—		—		
	⑤適正化計画	—				

【算出式（小数点 3 位以下繰上）】

①使用料原価（1 m² 1 時間当たりの原価）：（人件費＋物件費）÷総面積÷年間使用可能時間

②稼働割原価率（年間経費を年間収入で賄えない比率）：年間経費÷年間使用料収入

③ 1 m² 1 時間適正使用料：1 m² 1 時間当たりの原価×年間経費を年間収入で賄えない比率

運営に掛か る税負担 (市民負担)	年度		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度(予算)
	人口（4 月 1 日：人）		25,549	25,224	24,881	24,515
	人口 1 人あ たり（円/人）	運営経費（収入除く）	72	73	75	78
下田市負担年間総経費		58	61	68	67	

*人口 1 人あたりの運営経費：運営経費（支出合計）／人口

*人口 1 人あたりの年間総経費：下田市負担年間総経費（支出＋職員人件費－収入）／人口

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

利用者満足度調査

実施の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	調査の方法		H 年度調査数	件
○貸館利用者向け					
1 調査結果					
設問	回答種類	H 年度回答数	H 年度回答数	H 年度回答数	
	1 2 3				
	1 2 3				
	1 2				
<p>※今年度寄せられたクレーム等 大きな苦情は寄せられなかった。 施設電話が設置されていないことから、直接連絡ができず不便という声があった (旅行会社) 大型バスの駐車場に関する問合せが多い。</p>					
2 調査結果から読み取れること					
3 次年度以降への改善点					

施設修繕計画及び備品購入計画

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費見積	修繕・買換等 予定年度	備考 (修繕済年度等)
経年	屋根葺替・嵩上工事			昭和 51 年度
経年	屋根葺替・部分修理 (土間・建具等)			平成 3 年度
経年	屋根葺替	4,000,000	平成 25 年度	
<p>※今後想定される維持管理事項 文化財としての耐震計画の立案と耐震化の実施 (H22 静岡県文化財建造物耐震診断指針策定委員会による予備基礎診断実施) 土地の取得 (現状は借地 151,285 円/年)</p>				

平成 24 年度

施設名（愛称名） 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	幕末開港の歴史をもつ下田市を代表する史跡として、児童生徒の学習活動や入場者の歴史理解に寄与しており、必要である。 静岡県指定文化財（史跡）であるため除却・廃止はできない。 文化財の保存と学術研究に供することが目的であり変更の余地は無い。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	静岡県指定文化財であり、行政が責任もって管理すべき施設である。 静岡県内の史跡・建造物等の指定物件で、指定管理者制度を導入している例はない（平成 24 年 6 月末現在）。
施設の管理運営と経費の妥当性	通常の維持管理費は妥当だが、修繕に際しては文化財保護に即した特殊な技術が要求されるため、費用はより高額となる。
施設の性質や実費経費からみた受益者負担の妥当性	文化財としての規模と内容を考慮すれば妥当な金額である。 例) 岩科学校：大人 300 円 中学生以下無料 蕪山代官屋敷：大人 200 円小・中学生 100 円
その他の管理運営上の課題	大規模な屋根修繕（葺替）や耐震化が課題。
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	同規模で同種の施設は無い。

平成 24 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
芸術文化振興事業	吉田松陰寓寄処管理を含む	
	管理人（2名雇用）による公開・管理	

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

施設の概要

1 施設名 (愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係				
3 所在地	下田市蓮台寺 300 番地		4 設置年月	昭和 55 年 4 月 1 日				
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ人が輝くまちづくり		1 自ら学ぶ人づくり					
	基本目標		歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します					
	基本目標を実現 するための施策		項目	内容				
			文化財などの保存、継承	文化財の維持管理				
6 設置目的	吉田松陰寓寄処に関する有形文化財を保存管理し、一般に公開するとともに学術研究の資に供する							
7 設置根拠	下田市吉田松陰寓寄処設置管理条例							
8 施設の概要	施設の概要	敷地面積 184.495 m ² 建物延面積 105.74 m ² 1F 90.31 m ² 2F 15.43 m ² 建築年：江戸時代（後期） 構造：木造平屋建、一部中二階、茅葺、東入母屋造、西寄棟造 指定内容：静岡県指定文化財 種別：史跡 指定年月日：昭和 16 年 10 月 27 日						
	実施事業 の概要	幕末期に下田に来訪した吉田松陰ゆかりの史跡の保存管理と学術研究に資するため一般公開を実施。						
	料金体系	料金区分	(入場料) 第5条 寓寄処の参観のため入場する者の入場料は次のとおりとする。 (1) 小・中学生 50 円 (2) 一般（高校生以上） 100 円 (3) 団体割引 30 人以上 1 割引 2 入場料は原則として入場の際徴収する。					
		主な料金	種別	単位	昼	夜	昼夜	備考
			小・中学生	1 人	50 円	—	—	
			一般	1 人	100 円	—	—	
	団体		30 人以上	1 割引	—	—		
	減免内容	(入場料の免除) 第6条 前条の規定にかかわらず教育委員会が公益上特に必要と認める場合は入場料の全部又は一部を免除することができる。						
利用料金制度	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
施設運営 方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接運営							
	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度 →	指定管理者						
	<input type="checkbox"/> 一部委託 →	委託内容						
直接従事職員	下田市職員数 1 名 臨時職員 2 名 (管理人・施設常駐は 1 名)							
9 市内の 類似施設	下田市所有	なし						
	民間所有	なし						

平成 24 年度

施設名 (愛称名) 下田市吉田松陰寓寄処

番号 23

10 取得費等の情報 (単位:円)	取得費及び財源内訳		平成 23 年度末残高		(備考) 減価償却対象外		
	土地取得費	借地	土地残高	0			
	建物取得費	寄附	建物減価償却後残高				
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債		市債残高				
	一般財源						
	寄附金等						
物品(*万円以上)			物品減価償却後残高	0			
11 年間経費等推移 (単位:円)	区 分		H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算	
	収入	寓寄処入場料	519,335	465,535	327,700	400,000	
		県費補助金	0	0	0	0	
	収入合計		519,335	465,535	327,700	400,000	
	支出	7 節 賃金(管理人)	1,464,375	1,456,770	1,469,004	1,494,000	
		11 節 需用費	105,757	113,380	119,435	98,000	
		消耗品費	21,860	33,964	6,544	12,000	
		光熱水費	55,547	51,066	51,750	57,000	
		印刷製本費	28,350	28,350	28,350	29,000	
		修繕料	0	0	32,791	0	
		12 節 役務費	25,239	25,239	19,767	25,000	
		13 節 委託料	0	0	22,260	39,000	
		○ 使用料及び賃借料	223,285	223,285	235,285	236,000	
		15 節 工事請負費	0	0	0	0	
	支出合計		1,818,656	1,818,674	1,865,751	1,892,000	
	減価償却費		0	0	0	0	
	市債利子		0	0	0	0	
	職員人件費		166,524	172,914	147,182	150,308	
下田市負担年間総経費		1,465,845	1,526,053	1,685,233	1,642,308		
備考	○人件費は、実額を算出記載(当年度の人件費総額を按分し、事務量を勘案の上 1/40 人工で算出した。) ○総経費=支出合計-収入合計+職員人件費						
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度	H21 年度決算	H22 年度決算	H23 年度決算	H24 年度予算	
		利用者数	市内	— 人	— 人	— 人	— 人
			市外	— 人	— 人	— 人	— 人
			合計	5,345 人	4,798 人	3,380 人	— 人
	参考:利用単位当たり市負担額	275/人	318 円/人	499 円/人	円/人		
	算出方法: 11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数						
休館日	水曜日 12 月 29 日から 1 月 3 日まで(但し H13 より年始臨時公開実施)						
使用時間	午前 9 時から午後 5 時まで						

(参考資料) 特になし